

違法薬物は全世界的な広がりを  
見せており、日本では「第3次薬物  
乱用期」と言われています。その10  
年中の国内の実態を、このほど警察  
庁が発表しました。

目立って増

えているのは  
「覚せい剤」と

「大麻」の使用、所持の二つです。覚  
せい剤は検挙者が約1万2千人。年  
齢別では30歳代が最も多く、40歳  
代と合わせると全体の約64%。初犯  
者の割合は約40%、再犯者は約

60%となっています。

一方、大麻の検挙者は約2200  
人。うち最も多い20歳代と30歳代  
を合わせると全体の約87%。初犯  
者は減少したものの全体の約81%を

占めています。

犯罪の陰には  
必ず暴力団や不

良外国人が絡んでいます。悪の組織  
が若年層を「金づる」にし、人間の生  
命や社会の安全を脅かす違法薬物。  
絶対に許して  
はなりません。

## 薬物乱用は身の破滅

防犯一口メモ